

科目名	国内観光インターンシップ I	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			国際観光学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Domestic Tourism Internship I	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
ふりがな	よこた けいざぶろう	開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中		
		実務家教員 担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	横田 恵三郎	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	県内外のホテル、旅行会社、航空会社等観光系企業でのアルバイトとは異なる就労体験を通して、仕事をするの意義や自己の職業適性についてじっくり考える機会となる。さらに社会人、企業人のビジネス・マナーを学修することにより、将来、社会で活躍できるバランスの取れた人間性を培うことが出来る。				
到達目標	今回のインターンシップを踏まえて、自己の職業適性について一定程度の方向性を得ることが出来る。				
授業概要	当該授業は事前指導・県内外の観光関連企業での実習・事後指導・報告会・試験で構成されている。今回の経験により将来の自己のキャリア・プランをある幅の中でも描くことが出来ることを目指す。接客の5原則やビジネス・マナーについては基礎からしっかり学修し、出来栄を小テストで確認する。実習中は毎日を振り返り、必ず日報として記録に残した上で、事後授業の振り返りの材料とする。				
授業計画					
第1回	事前指導①	・ガイダンス ・今回の目的意識 ・自分への十の約束	第5回	事後指導① ・インターンシップの振り返り 1	
第2回	事前指導②	・整容 ・ビジネス・マナー1 ・挨拶状、挨拶メール	第6回	事後指導② ・インターンシップの振り返り 2	
第3回	事前指導③	・ビジネス・マナー2 ・ケース・スタディー 1	第7回	合同報告会① (国内観光インターンシップ I・II) (海外観光インターンシップ I・II)	
第4回	事前指導④	・ビジネス・マナー 3 ・ケース・スタディー 2 ・実習中の自己管理	第8回	合同報告会② (国内観光インターンシップ I・II) (海外観光インターンシップ I・II)	
	インターンシップ (40 時間以上)		第9回	定期試験	
授業時間外の 学習	日本政府観光局が月次に発表する観光統計や新聞、雑誌、テレビ等を通じてインバウンドや国内観光の傾向を掴むこと(1.5 時間程度)				
履修条件 受講のルール	身だしなみをきちんと整える意思がない人は実習先に派遣することは出来ません。またアルバイトとは性格を異にするので目的意識をもって臨むこと。受け入れ先との関係から、接客に興味がないまたは適性がないと判断した場合は履修を認めない場合がある。また、事前指導の授業に全て出席した者だけが実習に参加することが出来る。				
テキスト	特に定めない。				
参考文献・資料	プリントとしてその都度授業の中で配付する。				
成績評価の方法	試験 30%、報告書・報告会での報告 40%、実習受け入れ先企業の評価 30% 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。				
オフィスアワー	水曜日：2 限(10：40-12：10) 木曜日：2～3 限(10：30-14：00)				
成績評価の基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)				
実務経験及び実務を活かした授業内容	航空会社での実務家時代にインターンシップを受け入れたので企業側の考え方を説明したい。				
学生へのメッセージ	新型コロナウイルス感染症の状況によっては実習場所、実習企業を制限する場合がある。自己の職業適性がどこにあるのか探るために積極的に履修して下さい。				